

トラウマと居場所

フリースクールまいまいの 重層的支援実践報告



NPO法人フリースクールまいまい
みんなのリビング「いるか家」



いるか家の成り立ち

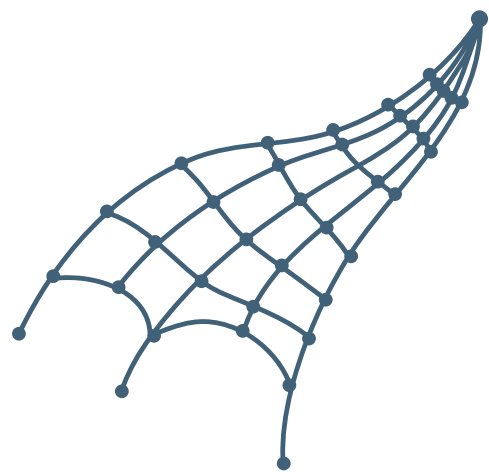
<代表鴻池について>

*一言でいうと心理職です

現職は**トラウマ対応**に強味のあるカウンセラー/精神科クリニックで発達関連のテスター/小学校のスクールカウンセラー/保育園の巡回指導員/福祉団体のスーパーバイザー/移動支援従事者。



<職歴> OL経験のあと、知的障害者生活支援→NPO設立（同時期に放課後子ども教室立ち上げ）→**児童相談所勤務（虐待対応）**→現在のスタイル



<行政と民間のすきま>

民間でさまざまな家庭を眺めている時に「行政の支援はどうなっているのか」が気になり、行政側の人間になりました。児童相談所で出会う子どもと向き合う中で、**行政だけではどうにもならない**ことがたくさんあることを知りました。今は、「別々の支援」ではなく「行政と民間が手を組み柔軟に行き来出来る柔軟な動き」のモデルを模索するフェーズにあります。民間として動きながら、積極的に行政と連携を取り**虐待を予防**する。その実践を提案していきます。

小児期逆境体験（ACEs）とトラウマ

アメリカの研究で、**虐待、家族の薬物中毒や精神疾患、母や義母の暴力被害、家庭内での犯罪行動、ネグレクト、支持的養育者の不在、両親の離婚や両親からの離別、**という経験が幼児期にあると、その経験の数に乗じて脳や神経系、内分泌系や免疫系に大きな影響が出て、健康リスクや社会的な問題が生じる率が高くなるということが知られています。

一般的に**トラウマ**となる出来事は「身近な人の死・死を感じるような恐怖や絶望」などをイメージされるかもしれませんが、
実際には**上記のような逆境**は日々積み重なっており、**自己感情調節や対人関係**に大きく影響を及ぼして行きます。

トラウマの
ケアが重要！

トラウマケアの三段階



ケアもしたい！予防もしたい！

いるか家で実践していること

代表鴻池のカウンセリングルームで
トラウマ治療をすることが出来ます。

*よく分からない困った状態の時には今起きている不調のアセスメントが出来ます。

居場所として、里親¹として、
ショートステイ^{*2}協力家庭としての関わり

*1 東京都に認定された養育家庭。短期的/長期的に保護者として養育をする。

*2 渋谷区の養育支援の仕組み。入院看護や出張で一時的に養育が難しい時に、最長6泊子どもを預けることが出来る。

地域で実施する、さまざまな
生きづらさを軽減する取り組み

「少数理解のための座談会」「手話べり会」「外国籍さんお茶会」
「ケアリーバーお食事会」「里親cafe」「アロマの日」などの企画開催
「つながりワーカー」「ママサポーター」「こころサポーター」
など対人援助の基礎を学ぶ養成研修の開催

